



↑半能「石橋(しゃっきょう)」

薪能

信州安曇野

イベント

北アルプスに日が沈み、かがり火が会場を照らし出す。観世流能楽師で市の名誉市民である故青木祥二郎師の出身地・明科で毎年開かれる「薪能(たきぎのう)」。今年から名称を「信州安曇野薪能」と改め、開催されます。今年、能楽「井筒」と「石橋」、狂言「千鳥」を上演します。夏の夜のひととき、格調高い能の舞いをお楽しみください。

明科龍門湖公園 特設能舞台 (雨天の場合は明科体育館)

日時 8月19日(土)

午後4時30分開場
午後5時30分開演

入場料

一般 前売り：3,000円
当日：3,500円
学生 大学生：1,000円
高校生以下：500円 (前売、当日共通)

入場券取り扱い所

安曇野市公民館各分館、スワンガーデン、あやめシテイ、松本・長野・大町市内の各プレイガイド

その他

軽食・飲み物の販売、託児所があります。また次のとおり送迎バスが出ます。
JR豊科駅 午後2時40分
JR穂高駅 午後3時

●人物紹介



観世流能楽師・名誉市民
(故) 青木 祥二郎
あおき しょうじろう
(1914-1999)

大正3年、中川手村(現安曇野市明科中川手)に生まれる。尋常高等小学校修了後、京都へ。昭和8年、観世流能楽師片山博通師の内弟子となる。昭和17年、独立許され師範に。昭和53年、重要無形文化財保持者の認定を受け、昭和62年、最高位の「職分」に昇格。昭和63年、能楽最高の秘曲「姨捨(おばすて)」の開曲を許される。平成11年逝去。

■演目

- ・仕舞：「田村(たむら)」
出演者 青木智彦
- ・能：「井筒(いづつ)」
出演者 青木道喜ほか
- ・狂言「千鳥(ちどり)」
出演者 茂山千五郎ほか
- ・舞囃子
「恋重荷(こいのおも)」
出演者 片山九郎右衛門 (人間国宝)
- ・能(半能)「石橋(しゃっきょう)」
出演者 片山清司ほか

■問い合わせ

教育委員会社会教育課文化振興係(Tel.62・3001)
詳しい内容は8月号で紹介する予定です。

アート

安曇野高橋節郎記念美術館 熊谷守一・高橋節郎展

安曇野高橋節郎記念美術館では、企画展「あこがれ/自由と自然と眼差しと 熊谷守一・高橋節郎」を開催します。

熊谷守一(くまがい・もりかず・1880・1977)は、並外れた観察眼で、対象物を単純で明快な形や色で突き詰めて表す独自の様式の油彩画で知られる画家です。名誉欲や所有欲とは無

縁の世俗を離れた生き方でも多くの人を魅了しました。高橋節郎は、学生時代に二科会研究所や熊谷の自宅でその教えを受け、独特の世界観・哲学的な思想に触れ、深い感銘を受けました。この展覧会では、高橋節郎に大きな影響を与えた熊谷守一の作品と高橋自身の作品を併せてご紹介します。

緑の世俗を離れた生き方でも多くの人を魅了しました。高橋節郎は、学生時代に二科会研究所や熊谷の自宅でその教えを受け、独特の世界観・哲学的な思想に触れ、深い感銘を受けました。この展覧会では、高橋節郎に大きな影響を与えた熊谷守一の作品と高橋自身の作品を併せてご紹介します。

アート

安曇野市豊科郷土博物館 郷土博物館 友の会美術展

安曇野市豊科郷土博物館では、博物館友の会美術部の皆さんの「第47回友の会美術展」を開催します。

郷土の自然を描いた油彩画から、抽象的な彫刻まで、長年、郷土にて芸術を志してきた会員の皆さんの力作をぜひご覧ください。

■会期 7月9日(日)～23日(日)

■休館

毎月曜日(7月17日は開館) 7月18日(火)

■会場

安曇野市豊科郷土博物館展示室

■入館料

大人 100(80)円
小中生 50(40)円

■問い合わせ

安曇野市豊科郷土博物館 (Tel.72・5672)



↑会員の力作を一堂に展示

切り取り線

安曇野高橋節郎記念美術館

あこがれ/自由と自然と眼差しと
熊谷守一・高橋節郎

見本 無料観覧券

※平成18年7/12～8/27の会期中、1枚で2名様まで有効

安曇野高橋節郎記念美術館

あこがれ/自由と自然と眼差しと
熊谷守一・高橋節郎

見本 無料観覧券

※平成18年7/12～8/27の会期中、1枚で2名様まで有効